



週刊 防衛副大臣 おにき 誠



人的基盤の 抜本強化に向けて

令和5年度の自衛官の採用が、過去最低レベルの採用計画達成率となりました（自衛官合計の採用計画数の5割）。この背景として、募集対象人口の減少や、民間の人手不足との競合（高校新卒者の有効求人倍率が過去最高・バブル期超えの3.52倍）が挙げられます。しかし、できない理由を見つけても始まりません。我が国の防衛に万全を期すため、必要な人的基盤を強化しなければなりません。副大臣の私をヘッドとする人的基盤の抜本強化に関する検討委員会を立ち上げ、処遇や勤務環境の改善など、あらゆる努力をしております。やり甲斐と魅力ある職場として、選んでもらえる自衛隊にしたいと思えます。

現場の隊員達の士気が落ちないように、日本の防衛力が低下しないよう、実現可能なシステムを作るのが幹部の役目です。情報保全と厳しい実任務を両立できる仕組みを作ってまいります。

今回の秘密漏洩は実際に外部に情報が漏れたものではありません。秘密情報が表示された空間に秘密取り扱いを認められていない人が入っていた等、漏れうる状態にあったことが法律上の漏洩に当たるといえるものです。艦艇の指揮所など、大変な実任務にあたりながら情報保全を全うするのは大変なことなので、それを両立できる仕組みを作らなければと議論を進めています。



一連の不祥事への 対策

自衛隊の相次ぐ不祥事で、200名を超える処分が行われました。原因究明や再発防止のために様々な会議が行われています。16日、自民党の国防部会では防衛省を代表して私が参加、謝罪と再発防止への決意を表明しました。特定秘密の漏洩、不正喫食、パワハラ、手当の不正受給、などの抜本解決に不退転の覚悟で取り組みます。17日、防衛省の特定秘密漏洩再発防止委員会は私が委員長を務めます。会議は統幕長から事務次官まで制服・背広の別なく、皆が心を一にして再発防止に向けた思いや具体的な方法を話し合いました。



人的基盤の抜本強化に関する
検討委員会



防衛省
特定秘密漏洩再発防止委員会